

## 神教三條大意

御省ヲ置レ、神教三則ヲ立テ億兆ヲ教育シタマフ旨、感銘ノ余、同志タカヒニ其三條ヲ研究セント欲スルニ、今般發行有ラセラレシ「神教要旨略解」ニヨリテ、大意ヲ拝承ス。斯テソ天下遍ク人心ノ方向頓ニ定ルヘキ事ト感戴<sup>（下モ）</sup>ノ至ニ堪ス。然レ<sup>（下モ）</sup>此書其旨深カル事ニハ有ルヘケルトモ、細民ニ至リテハ其意ヲ解スルニカタク、望洋トシテ由ル処ヲ詳ニセサルカ如シ。ハタ道ハ須臾モ離ルヘカラスト云々支那人モ云ヒシカ如ク、道ハ極メテ身ニ切近ナルモノニシテ、其論其理高上ナルハ、却テ実地ニハ如何アラン。依テ我輩蒙昧ノ者ニモ切實ニ体認セスンハ有ヘカラサルノ理ヲ解スヘクツトメテ実地ヲ主トシテ、

- 一、難訓のものには（ ）で右に註。
- 一、脱字・脱文あると覚えるものには、下に○を付して加筆した。又明かに誤文のものは（ママ）と付註した。
- 一、猶、句点と読点とは原文にない。

試別冊ヲ書記ス。斯ク卑ク近キ論ニモアラハ、細民ニ至ル迄、三條ノ意ヲ解セサルヲ無カラント、我輩蒙昧ニ比シテ他ヲ推ハカリヌ。三條ノ旨ニ乖戾センヲモナクンハ、同志ノ者ニ示シ万分ノ一助トナサマク欲ス。依テ草稿一冊ヲサミケテ、俯テ公裁ヲ祈奉リス。謹白

明治五年十月

岐阜県貴族士族

国井清鏡男

国井清廉

## 神教三則大意

教部省

御中

教則三條ハ、上下ノ人々從來一日モコレナクハ、世ニ立  
事ヲ得ヘカラサルコトニシテ新ニ、  
天皇ノ御心モテ作ラシ、コトニハ非ス。

道ハ身ニ切近ナルモノニシテ、須臾モ離ルヘカラ  
ス、離ルヘキハ道ニアラスト支那人ノ言、動かサル所  
ナリ。其須臾モ離ルヘカラサル道ノ本源ヲ探ネテ、  
其旨ヲ明カニシ、人ヲ導ク、是ヲ教トイフ。如何ナ  
ル聖人トイヘトモ、我カ心ヲ以テ新ニ作り出ラルヘ  
キモノニ非ス。若新ニ我カ心ヲ以テ作り出タルモノ  
ナラハ、夫則邪説ニシテ、取ルヘキモノニ非ス、今  
度立ラレタル三條ノ旨モ、名コソ新ニ設ラレタレ、  
人々固有ノ道ヲ明ニシ万民人道ヲ違ヘサランメント  
シ玉フ大御心ナリ。能々心ヲヒソメテ思フヘキコトナ  
リ。

盖第一條敬神愛國ノ旨ヲ体スヘキコトハ、天地ヲ鎔造シ

玉たまイシ、三神ヲ始ソレ、有功ノ神々ヲ齋キ祭り、別テハ天照大神又各住居スル所ノ産土神ニ依恃シ奉リ、我カ身ノ所生又斯ク命ヲツナク衣食住ノ道ヲ始メ、人間有用ノ万物ミナ神々ノ恩頼ナルヲ奉戴シテ、日ミ是ヲ謝シ奉リ、或ソレノ業ニツキ心ノ及ハサルヲ有ヲモ幽冥ヨリ助ケ有ランヲモ請。又死シテ幽界ニ至レハ、別テ神ノ恩賚ヲ蒙ラサルヲ得スシテ、顯幽トモ凡ニ神ノ恩恵ニ洩レサルヲ、タシカニ識得テ、ソノ神恩ニ報シ奉ラントノ心ヲ立ル。是敬神ノ大本ト云ナリ。然シテ其神恩ニ報センノ道如何トナラハ、各ソノ分ヲ以テ國ノ為、人ノ為ニ力ヲ尽シテ、神ノ功德助ケ至誠ヲ以テ皇道恢張セン、日夜忘ルヘカサルヲ云ナリ。サテ是ヲ以テ神恩ニ報スルノ道トスルヲ如何トナラハ、先神理ヲ了知スヘシ。其神理ヲ了知センヲ如何トナラハ、天地ノ初発并ニ諸神ノ事実ヲ知ルニ在リ。故ニ其大綱領ヲ云ン。天地ノ初発ニ天之御中主神・高皇產靈神・神產靈神ノ三神坐シテ、天地ヲ鍛造シ、蒼生ヲ生成シ蒼生ノ為ニ世間ノ有ユル万物ヲ造リ給ヒ、又其万物ヲ掌ツカサシリ給フ神々ヲ生成シ給ヒ

天地鍛造ノ初発諸神ノ生成蒼生ノ基源古史ニ明ナレハ更ニ記サス○水火木金土ノ神其他諸神ノ功德ヲ云フヘキナレト長キヲイトヒテ省ケリ又是等ノ初ソレノ神ヨリ起ルトイヘ凡皆三神ノ靈ニヨリテナレハ概シテ云フナリ。

後ニ三神ハ天地ノ主宰ヲ天照大神ニ任シ玉ヒテ、幽明ノ大本ヲ至リ長ク天上ニ隠リマシ 天照大神ハ又此地ノ幽冥ノ政ハ、大國主神ニ任シ、顯明ノ政ハ 皇孫邇々杵命ニ任シ玉ヒ、其ニ源ツカサシヲ主リ給フ。

夫天ハ日ニシテ神ノ居処。地ハ人ノ居処ニシテ、其天地ノ間ニ別ニ幽界在リテ則靈魂ノ居処ナリ。其幽界ハ大國主神はカ主宰トナリテ治メ給フ。其冥府ハ出雲ノ國杵ツカサシノ宮是ナリ。國々ノ一ノ宮、産土神ノ社是小冥府ナリ。書記ニ曰。時高皇產靈尊乃還遣ニ神勅大己貴神曰。今者聞汝所言深其理故更條々而勅之。夫汝所治顯露之事。宜是吾孫治之。汝則可以治神事云々。於是大己貴命報曰。吾所治顯露事者。皇孫當治。吾將退治幽事。トアルニテ顯・幽ノ二政ヲ

大國主神・皇孫ト分チ宰リ玉フノ理明ナリ○日ハ則  
天照大神ノ君臨シ玉フ國ニシテ高天原ト云是ナリ。  
万物ノ化育ハ日輪発越ノ焰氣ヨリ出ルモノニシテ、  
其日輪ノ功ハ天照大神ノ功業ナリ。夫日輪ハ炎熱ノ  
大元、造化賛成ノ基本ナリ。

サレハ大國主神ハ國々処々ニ、ソレ／＼神ヲ分部シテ、  
幽冥ノ政ヲ任シ玉フ。所謂一ノ宮又産土神是ナリ。其政  
ハ其地ノ災害ヲ攘ヒ、五穀ヲ始、人間有用ノ動植ヲ繁茂  
セシメ、惡ヲ陰ニ為ス者ハ或ハ顯世ニ罰シ、或ハ幽界ニ  
歸シテ後、罰ヲ下シ玉ヒ、善ヲ陰ニ為ス者ハ顯世ニ賞  
シ、或ハ幽冥ニ歸シテ後、賞シ給フナトイヒ。

一宮又産土神ノ社ハ、小冥府ニシテ其地、其人ヲ幽  
冥ヨリ保護シ玉フ事ハ、古ヨリ事実ノ上ニ著明ナ  
リ。又顯世ニ朝廷ヨリ府県ヲ置テ、政ヲ布キ給フニ  
比較シテ思量スヘキナリ。其ハ顯幽分二ノ神勅ニヨ  
リテ明ナリ○善惡ノ賞罰ハ兼良公ノ纂疏ニ顯事(ハ)  
人道也。幽事(ハ)神道也。人為(惡ヲ)於顯明之地  
則皇誅レ之。為(惡ヲ)於幽冥之中則神罰レ之。為(善

獲レ福亦同之。神事則冥府之事也トアリ。此語ニテ  
其理、明ナリ○顯世善ヲ行ヒ人ヲ救ヒ、哲人君子タ  
ルハ、或ハ天ニ昇リテ神界ニ交リ、或ハ幽界ニシテ  
官ヲ授カリ、幽政ヲ与リ聞クニ至ル。上古ヨリ功業  
アル哲人君子、没後神ト齋レテ、国土ヲ預リ玉フ。  
其例枚挙ニ遑アラス。近クハ菅原大神イチシルキヨ  
ナリ。

皇孫ハ天壤ト無窮ニ、日嗣ノ御位ヲ知食テ、國々処々ニ  
府県ヲ置キ、ソレ／＼官員ヲ布署シテ顯世ノ政ヲ主リ給  
フハ人々今日目前ニ見ル所ナリ。

皇孫ハ天照大神ノ御子正哉勝々速日天忍穗耳命ノ  
御子天津日子番能邇々杵命ヲ云ナリ、天照大神、  
此御子ヲ、大八島豐葦原水穗ノ國ハ吾子孫玉タルヘ  
キ土地ナリトテ、降臨サセツラントシテ、御手ニ宝  
鏡ヲ捧持シテ勅シタマハク。宝祚之隆當与天壤無窮  
矣トノリ給ヒケルマニ／＼、今ニ至リテ幾千年ナル  
ヲ知ラスト云尼、確乎トノ動キ給ハサル宝祚ノ隆  
盛、更ニ言ヲ待ス。然リトイヘ尼、時ニ消長アリ、

世ニ汗隆アリテ三千年ノ久シキ沿革ナキコトアタハス  
トイヘル、大本ハ動クコトナシ。君トイヘハ、上（ツチノミヤ）一人  
ノ事ニシテ、其他ハ臣タラサルモノ有事ナシ。サレ  
ハ土地・人民ヲ賜ハリテ私有スルコト上古曾テ有ラサ  
ル事ナリシヲ、中古藤氏權ヲ弄シ、君威漸リ衰シ時  
ニ當テ、土地ヲ賜ヒ、人民ヲモ私有スルコト始レリ。  
是ヨリ人民ノ方向両岐ヲナシ、再ビ 朝威挽回ノ期  
ナク又降テ權武臣ニ遷。又倍臣（トクシ）天下ヲ弄スルニ至リ  
天下分裂シテ武臣割拠シ、 朝命・武命モ行ルルコ  
ナク、大乱ノ極ニ至シテ、家康公三河ニ勃興シ乱ヲ  
攘ヒ正（ただ）反シテ、漸ク人ヲシテ 朝命在ルコトヲ知ラ  
シムルニ至レリトイヘル、大体ハ中古ノ流弊ニ因循  
シ、武臣、土地・人民ヲ私有シテアヤシマス。然ル  
ニ近世、學問ノ道、大ニ開ケ人々大理ヲ講明シ、大  
義明ナル折柄、洋人來船ノ事情ヨリ、公武離間シ、  
有志ノ徒、憤發東西ニ奔走シ身ヲ失ヒ家ヲ捨テ、  
朝廷ヲ古ニ復サント尽力シ、時到テ戊辰ノ春、忽維  
新ノ秋アリ、大政大道ニカヘリケル中ニ、武臣私有

ノ土地ヲ奉還シ、一民モ 朝臣ニ有ラサルコトナキニ  
至ル。實ニ盛華中ノ盛華ト云ヘシ。爰ニ於テ國々処  
々ニ府県ヲ置キ、一々朝廷ニ惣管シ玉フコトハナリ  
ヌ。此、天照大神ノ神勅ノマニク、人民愛撫ノ大  
政ヲ行ヒ玉フ基本、第一ニ立サセラレシコトニシテ、  
仰キ尊ムヘキ至ナラスヤ。

此ノ如キノ理ナレル、中古以來種々ノ外教、人目ヲ眩  
シ、古伝ヲ失ヒ、人々顯明ノ政ハ蒙ルコトヲ知レル、一日  
片時モ幽冥ノ政ヲ蒙ラサルコトナキヲ知ルモノナシ。此大  
理ヲ知ラサルニヨリ、死後ヲ危ミ懼レ危ミ懼ルルヨリ、  
種々ノ邪路ニ陥リ、此顯界ヲ仮ノ世ナト、唱ルニ至ル。  
惟大理ヲタニ了解セハ、豈死後ヲ危ムコトアランヤ。死生  
一理也ト云ハ、此理ヲ以テ明ナリ。能々心ニ會得シテ感  
ヲ解ヘキナリ。

漢学ハ理屈ヲ主張シテ空論ニ陥ルアリ。仏ハ素ヨリ  
世外ノ道ニシテ、論スル迄モナク、此ニ道ニモ分流  
アリ。其他種々ノ小道アリテ、人心ヲ蠱惑シ、前條  
ノ神理湮滅スルニ至レリ。是皇國ハ病ナキ國ナルヲ

以テ、教ヲ医スルコト有ラサリシ時ニ當リ、儒・仏ハ  
力ヲ尽シテ人ヲ誘導セシニヨリテナリ。故ニ千有余  
年ハ、儒・仏ノ人心ノミニシテ、固有ノ人心ヲ保護セ  
シ人甚少シ。又儒仏ヲ学ハサルモノト云ヘテ、自ラ  
浸潤シテ此道ヲ離ルル者ナシ。ヨリテ今ニシテハ、  
神理ヲ講明シ、人ヲ薰陶スルコトナクンハ有ヘカラサ  
ルナリ。人々幽顯一理ノ大理ヲ解シユカハ、確乎不  
拔ノ心魂コ、ニ於テ立ヘク、兵刑ヲモ廢セン日、爰  
ニ於テ待ヘシ。○人ノ世ニ処スル、カクノ如キ理ナ  
レハ、人陰ニ惡ヲナシテ、陽ニ利ヲ得ルテ、已ニ幽  
界ノ罪人ナリ。遅速ハ有レテ、其罰ヲ道ル、事能ハ  
ス。人陰ニ善ヲナシテ陽ニ賞スト云ヘテ、已ニ冥簿  
界○死後の世  
界の名簿ニ功ヲ記サル。豈幽冥ノ賞ナキコト有ンヤ。  
是則顯世陽ニ善惡ヲ為ス時ハ、官府ノ賞罰ヲ愛スル  
ト一理ナリ。カカレハ、人（心）私心ヲ捨ルコトヲ得サ  
ルハ是身ヲ捨ルナリ。人、私心ヲ斷ツ。是身ヲ愛ス  
ルナリ。思ハサルヘケンヤ、戒メサル可ンヤ。  
カク神理ヲ解シコケハ、諸神ノ功德、國ノ為、人ノ為ナ

ラサルコトナシ。此クノ如ク愛撫ヲ蒙ル人トシテハ、其恩  
ニ對ヘマツリ、神ノ功德ヲ助ケマツ（ラ、脱カ）ント、同  
ク國ノ為、人ノ為心ヲ尽シ皇道ヲ恢張セント勉勵セسن  
ハ、有可ラサルナリ。其國ノ為、人ノ為心ヲ尽シ皇道ヲ  
恢張センノ道如何トナラハ、天皇ノ大御心ヲ心トシテ  
國家ノ益ヲ興シ、國用ヲ足シ、自ハ素ヨリ他ノ智識ヲモ開  
ント力ヲ尽シテ、怠ラサルヲ云ナリ。斯シテ怠ラサル  
則、神明、億兆ヲ愛撫シ給フ恩ノ、万一ニ報スルト云ナリ。  
是神ヲ敬スルノ真心ニシテ必竟愛國ノ大ナルモノナリ。  
産靈神、人世ヲシテ安樂ナラシメ給ハン為ニ、土地  
ニ寒暄・高低・湿燥・肥瘠・山河・海陸ノ不同アリ  
テ、各物産ヲ齊フセス。世間有用品ハ素ヨリ、心、  
目ヲ娛樂セシムル玩好物ニ至迄備ラスト云コトナシ。  
斯ク氣候土地ニヨリテコソ万品異ナルモノナレハ、  
遠近有無ヲ易ヘスシテハ、神ノ神ノ○二字  
不要カ功德ヲ曠廢  
スト云ヘシ。我皇國中スラ土地ニヨリテ産物ヲ異ニ  
ス。況ヤ海外各國ノ広キ無量ノ品物アリ。互ニ有無  
ヲ通セスンハ、神ニ對シ不敬ノ大ナルモノナリ。然

ルニ我カ国ノミニ非ス、近世ニ至迄、万国只私ヲノミ先トシ、互ニ伏視<sup>(仇)</sup>セン所ニ、時至テ万国一時ニ開化シ、航海ノ業至精ニ、大洋ヲワタルコト平地ヨリ便ニシテ、有無ヲ通シテ、国用ヲ足シ、文明ニ趣キ、四海兄弟ノ好ヲ為スニ至ル。爰ニ於テ産靈神ノ功業始メテ成レリト云ヘキモノカ。三千年ヲ一目ニ観、五大洲ヲ目下ニ見ル思ヲ為ス可物ナリ。豈区々ノ小論ニ泥<sup>(泥)</sup>ンテ、産靈神ノ功徳ヲ曠<sup>(曠)</sup>フスル時ナランヤ。

○草木ノ物タルヤ、年々生長スル処ナレバ、久シキヲ経ルコト金石<sup>(石)</sup>ノ如キニハ非ス。取ラサレハ皆腐朽シ植<sup>(植)</sup>サレハ生セサルモノアリ。故ニ之ヲ植生シ、之ヲ採取シテ人世ノ用ニ供スル即天龍ニ対ヘ奉ルノ務ナリ。若植生セ<sup>○</sup>カ<sup>○</sup>シテ其種ヲ絶チ、或ハ採取セスシテ其物ヲ腐朽ス。是又諸神ノ化育ヲ曠廢スルナリ。爰ヲ以テ謹テ草木ノ蕃殖ヲ助ケ用テ、日用ニ供センコト心ヲ尽スヘキナリ。又各花・珍木・奇草ハ皆産靈神、人ヲシテ心・目ヲ娛マシメタマフ所ナリ。其程々ニ天意ヲ奉戴スヘシ。理屈ニ陥リテ天物ヲ害

フ事ナカレ<sup>此條ハ目前ノ事ヲ以テ云也小事タリトモ</sup>○天皇ハ天照大神ノ勅ヲ奉戴シ給ヒ、神意ニ違ハンコトアラン<sup>○カ又ヤ脱カ</sup>ト兢々トシテ日夜焦心シ給ヒ、人民愛撫ノ外有ルコトナシ。其愛撫ノ道ハ天功ヲ養成シ人心ノ智識ヲ開キ、国用ヲ足<sup>(足)</sup>シ、万民<sup>(ニ)</sup>道ヲ楽マシメント為<sup>(シ)</sup>給フ御心ナリ。時々ノ令ヲ拝セハ、其意明ナリ。此御心ヲ体認シ、分ニ随テ、爰ニ心ヲ尽スヘキナリ。○国ハ人民ノ集リシ上ノ名ニシテ、一人ヨリ起ル居所ナレハ、各身ヲ愛シテ神理ヲ蹈<sup>(蹈)</sup>メハ則、一家ヨリシテ一國ニ及ヒ、全国風俗淳美物産蕃殖シ、人々安楽ニ至ルモノナレハ、國ヲ愛セントスルモノハ、前條ノ神理ヲ踏違ヘサルニ有ルコトヲ、深ク會得スヘキナリ。

第二條天理人道ヲ明ニスヘキコトハ、天理則神理ニシテ、是敬神ノ條ニ説ル所ノ、神理ヲ識リ得ル是天理ヲ明ニスルナリ。天理ヲ明ニシテ、我身所生ノ原由ヲ知レハ、我魂ハ三神ノ賦与シ給ヒシコト明ナリ。我魂ハ三神ノ賦与シ給ヒシコトナランニハ、其魂ノ神ノ御心ニ反シタルコト有ヘケンヤ。世ニ云五倫ノ道ハ、已ニ神ヨリ賦与シ玉ヒテ、

人々違フルモノニ非ル理ナリ。然ルニ私ト云マカ神ノ立  
ソヒテ、其正ク直キ心ヲ蔽ヒ塞キ、良モスレハ、顯罰ヲ  
蒙ルモノアリ。是一人ヲ罰シテ千万人ヲ正シ、億兆ヲシ  
テ安カラシメ玉フ所ノ大政止ムコトヲ得サル所ナリ。億兆  
愛撫ノ神皇イカニ心ヲイタメ玉ハシ。実ニ怨ヘキコトニ非  
スヤ。人々反省シテ神明賦与ノ魂ヲ磨キ幽顯<sup>トモ</sup>ニ所サル  
行ヲナスヘキ事ナリ。則天理人道ハ敬神ヨリ立ツコトニシ  
テ、其理前條ニ説ルカ如シ。此天理ヲ明ニセサルヨリ、  
斯ク安<sup>ヤス</sup>安樂ニ世ニ居ルコトヲ偶然ニ心得、神ノ功德、至尊  
○ノ焦心シ玉フニ因ルヲモ思ハス、只私ヲノミ營ミテ、  
人道ニ違ヒ、終ニ家ヲ失ヒ、身ヲ失ヒ、又幽界ニ帰シ  
テ、神ノ罰ヲ蒙ル恐ルヘキノ至リナラスヤ。是天理ヲ知  
ラサルヨリ、人道立ス、人道立サルヨリ幽罰ヲ受ルニ至  
ル。豈弁明セサルコトヲ得ンヤ。

万国トモ父子・夫婦・兄弟・朋友ノ道ニハ尤ナル説  
有リトイヘテ、五倫ノ大本タル君臣ノ道ニ至テハ、  
真ノ道ノ立ルヲ聞カス。是皇国ニテモ、父子・夫婦・  
兄弟・朋友ノ道ニハ一言ノ邪説ヲ聞ストイヘテ、君

臣ノ大道ニ良モスレハ邪説ノ出来ル原由ナリ。弁セ  
サルヘ<sup>カク</sup>カシヤ。夫宇宙ニ日アルハ即チ君ナリ。家  
ニ長アルハ即君ナリ。然ルニ国ニノミ動かサル所ノ  
君ナキ理ナシ。抑我皇国ハ 皇孫邇々杵命 天照大  
神ノ詔ヲ受テ君臨シ玉ヒシヨリ、皇統一系、千万世  
一日ノ如ク、万国称讚シテ及フ所ニ非ストスル所ナ  
リ。是顯世政ノ大本、天照大神ノ深慮、爰ニ在リ。  
父子ノ道、立スシテ一家<sup>トク</sup>齊フコトナク、君臣ノ道、乱  
テ天下治ルコトナシ。能々心ヲヒソメテ此理ヲ忘ル可  
ラサルナリ。

第三條皇上ヲ奉戴シ朝旨ヲ遵奉スヘキコトハ、皇国ノ君  
ハ、敬神ノ條下ニ已ニ説ルカ如ク、天照大神ノ億兆愛撫  
ノ余リ、任シ玉ヒシコトニシテ、千万世動クコトナキ無上至  
尊ノ御位ナリ。是則政ノ大本ニシテ万国ニ比スヘキナク、  
仰クヘク尊ムヘキ実ニ天壤トモ<sup>トモ</sup>窮リナナキ君上ニ保護  
ヲ受ル皇国ノ億兆、何ノ幸福カ之ニシカンヤ。是皆神恩  
ノ深キ所ナリ。夫君上綱断絶スルコトアラハ、億兆ノ目保  
ツコト<sup>ニホシ</sup>努々有ルヘキ理ナシ。然ルニ他ノ国ハ時トシテ其綱



断絶スルヲ以テ、其目破裂シ其下流離辛楚スルヲアリ。

実ニ憫然ノ至リナラスヤ。余力有ラハ他ノ国、古今ノ沿革ヲ窺知リテ、此等ノ理ヲ弁フヘキナリ。然ラサレハ、カカル安楽国ニ住シテ安楽国タルヲ知ラスシテ、終ル者アルヘカラン。扱此ノ如ク我カ 君上ハ 天照大神億兆愛撫ノ余命シ玉ヒシ神勅ヲ受サセラレ、其命ニ背カシト、万世一日ノ如ク君臨シ玉フ大政ニ、一事一言トシテ億兆ノ為ナラサルヲアルヘキハ、此意ヲ人々体認スヘキ事ナリ

ココ三事云フヘキアリ。ソハ、

朝旨ノ深意ヲ知ラスシテ、兎角議スル者有ル中ニ、偶ハ実ニ其身ノ目前困却スルヲナシトモ云ヒカタシ。夫ヲ譬ヘテ云ンニハ、太陽ノ光ハ万物一日モ蒙ラスシテハ、立ヲ得サル所ナレト、偶其光ヲ以テ身ヲ果ス小虫モ在ルモノナリ。然ルヲ其小虫ノ容体ヲ口突トシテ、太陽ハ世ニ害アルモノトスヘケンヤ。朝旨ハ皆億兆ノ為ノミナレト、受ル方ニテハ、偶小虫ノ如キモノシトハ云カタシ。是天下ノ広キ戸毎ノ情実ヲ問フ事ヲ得サルハ論ナク、縦令、其情実

ハ知ルルトイヘト、一民ノ為ニ国家ノ大益ヲ興ラモ遏メハ、小虫ノ為ニ、太陽ヲ廢セントスルカ如シ。

又是等ノ民モ一時ノヲシテ、終ニ身安楽ノ域ニ至ルヲヤ。兎ニモ角ニモ細民ノ眼前ノ利ヲハカル者ノミ多キ実ニ憫ムヘキ至ナリ。今ハ日新ノ政躰ニ沿シ、開化ノ教ニ趨リテ水ノ下キツクカ如シ。是憂モ不日ニ消セン。 皇上ノ仁愛仰キ尊ムヘシ。

右三條ノ大意云ヒモチ行ケハ、敬神ノ條下ニテ愛國天理人道皇(上)奉戴 朝旨遵奉ノ道皆備レリト云ヘリ。敬神ヲ離レテ外ニ言フヘキナシ。然レハ敬神ハ綱ニシテ他ハ目ナリト云ヒテ可ナリ。尚細カニ論スレハ、三條環ノ端ナキカ如ク、一條ヲ萃レハ三俱ニ萃ルモノナリ。ソハ敬神ノ理ヲ明ニスレハ、愛國・天理・人道、其他(トゴト)尽ク明ナリ。天理ヲ明ニスレハ、敬神愛國尽ク明ナリ。皇上奉戴ノ意ヲ明ニスレハ、敬神愛國其他尽ク明ナリ。宜ルカナ、神教トツケラレタルヲ、名実ノ違ハサル、仰クヘシ、尊ムヘシ。

明治五年九月

国井清廉稿